

「地球を考える会」フォーラム

地球愛・環境とエネルギーの国際的な調和を求めて

2009年10月4日（日）

「社会変革」にむけた政治の コミットメント

～世界経済の波動の視点から～

慶應義塾大学商学部教授

和気洋子

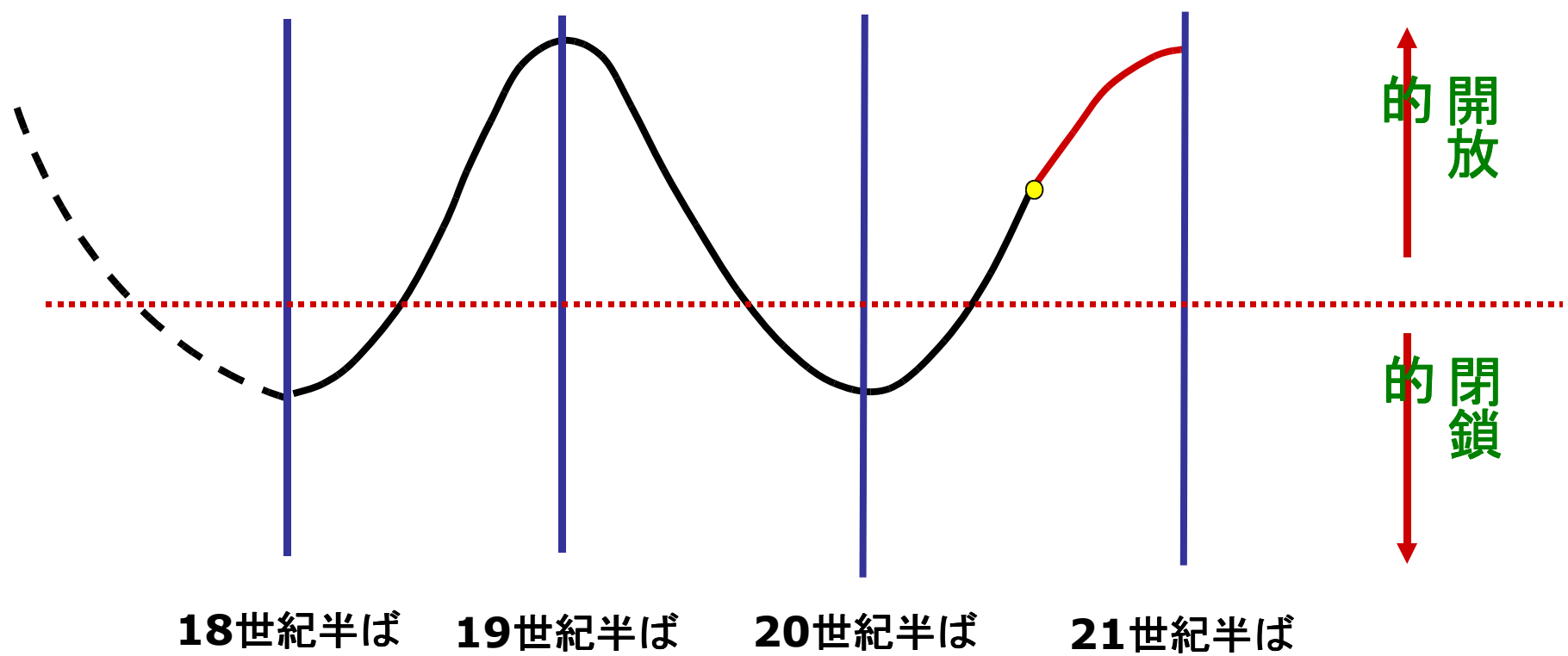
いつの時代も

1-1 世界の国々が直面する“憂鬱”

- 先進国 → 社会(意思決定)の慣性
成功ビジネスモデルへの執着
- 新興・途上国 → 窮乏化成長の落とし穴
キャッチアップ(国際化)の焦燥感
- 資源豊富国 → “オランダ病”の落とし穴
技術革新ポテンシャルの軽視

1-2 国際社会の岐路

世界不況と気候変動問題



国家予算構造の变革? → 軍事費・社会保障費・教育費
環境エネルギー対策費用

1-3 先進工業国 の成長軌道の変化の方

→ 輸出主導型成長戦略に持続可能性はあるか？

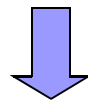
輸入の役割、内需サービス部門へのシフト

→ グローバリズムは雇用問題を解決できるか？

所得格差の顕在化、企業のFDI戦略の見直し

→ 従来型のコスト・価格競争は産業発展の動因になるか？

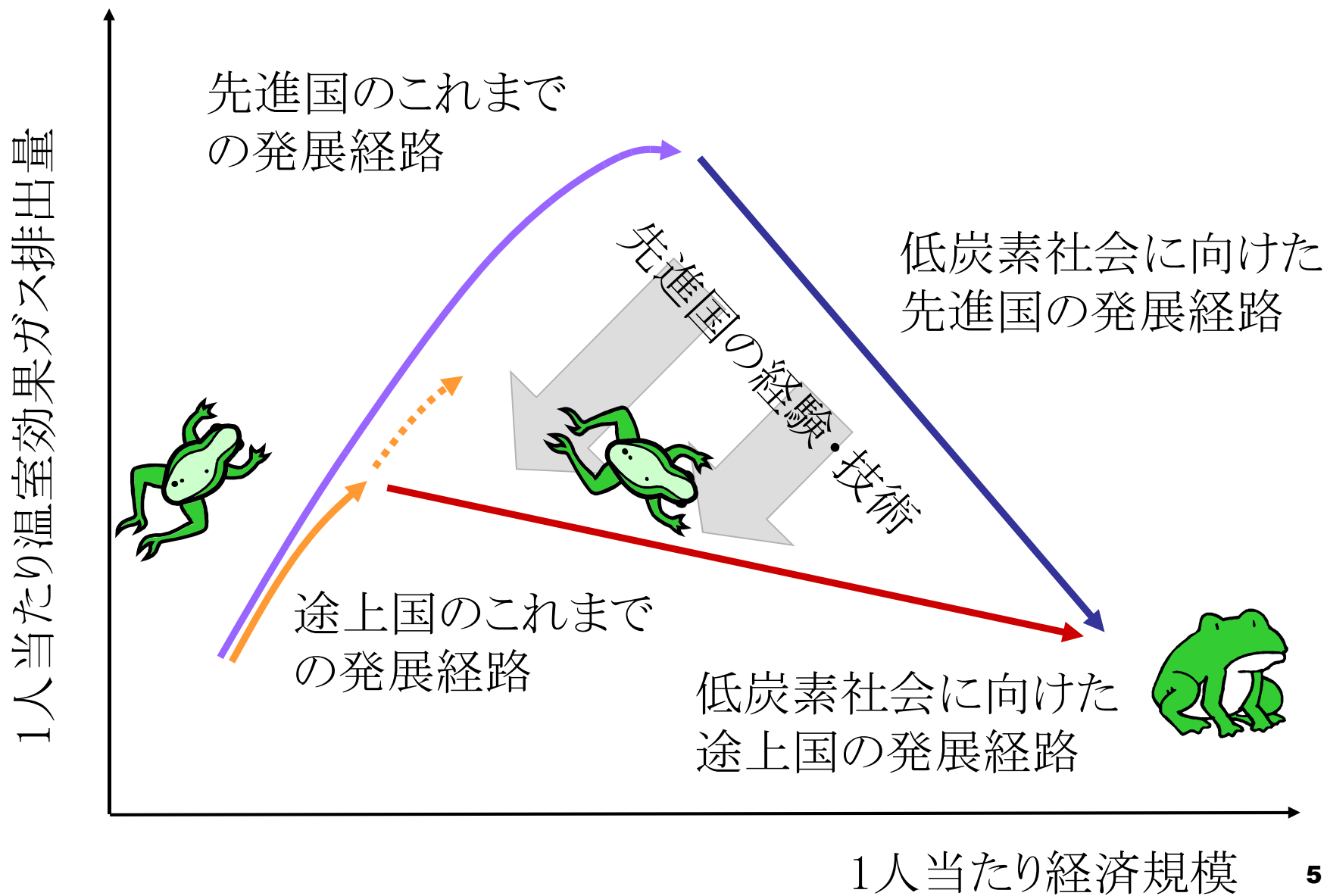
新たなコスト概念、消費選好の革新的変化



産業・市場構造の質的転換

低炭素社会へのプロセスが新たな成長フロンティア

1-4 新興・途上国は“蛙跳び”型成長軌道へ



2-1 日本の選択

アジア地域における環境・経済連携を視野に

- アジア諸国との経済的相互依存関係とその市場ポテンシャルへの期待が一層拡大・緊密化するなかで、
「地球環境の保全と持続可能な開発」
を共通の課題として共有し、低炭素社会の実現にむけてアジア諸国との国際協調を推進する。



クリーンアジア・イニシアティブを支持する
～ アジア経済・環境共同体構想を軸として～ (2008. 6



月環境省)

アジアを低炭素化へ

参考: CDMの現状; ホスト国; 中国 韓国 インド合計で76%以上



グローバル・ガバナンスを補完する
アジア共同体構想

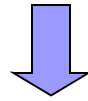
Multi-issue linkage
Open regionalism

- 自由で安全なアジア経済圏を形成する **Economy**
- 環境保全を目的とするアジア域内国際協調 **Environment**
を促進する
- アジア特性(域内比較優位)を反映したエネルギー・ポートフォリオを指向 **Energy**

2-2 日本の選択

3E(環境・経済・エネルギー)トリレンマから脱却し、新たな成長軌道を創るためには、消費嗜好の革新が必要

- 非市場財を市場化へ
安全、環境の市場価値化
- Visible goodsとInvisible goodsとの一体化が消費の高度化を後押し
資源制約下の成長モデル
- 売り手と買い手の価値の共有性・協働性
公共概念の新たな展開
- 「感性重視」の消費行動
消費社会のニューフロンティア



消費社会の国際的視点

環境配慮された貿易体制への移行は必須である

たとえば、**貿易と拡大生産者責任の問題**
国際的なエコラベリングの統一化

WTO, FTA枠組みのもとで、具体的な施策措置において
は慎重な検討が必要。

○非削減義務国からの輸入に対する一方的な貿易規

制措置(国境税措置等)？

○削減義務国からの輸出に対する減免税措置？

2-3 日本の選択

3E(環境・経済・エネルギー)トリレンマから脱却し、新たな成長軌道を創るためには、革新的な**エネルギー戦略**が必要

- 鉱物資源リスクに配慮しながら、エネルギー・ミックスを設計する。
- エネルギーの質を反映した価格体系に需要が弾力的に反応する。
- エネルギー・ビジネスおよび政策の国際展開

原子力発電の国際展開(2009年9月原子力委員会検討事項)

鳩山ステートメントについて

3-1. 人類が共通に直面している気候変動問題において、IPCCを中心とした科学的知見を、政治が真摯に受け止めたこととして、基本的に支持する。

不確実性の縛りに対して 政治決断

鳩山ステートメントについて

3-2. この削減目標は、我が国の持続的経済成長の視点から積み上げてきた、すでにロードマップ上にある対策メニューや課題の大幅な見直しを迫るもの。

これまで言葉として使われてきた「社会変革」への起爆剤となる。

慣性の縛りに対して 意思決定の変革

鳩山ステートメントについて

3-3. 誰が何を得るために、いっどれだけ支払うかに関する情報とともに、削減目標は設定されるべきであろう。

ステークホルダー間の合意形成は難しい。それに縛られると未来世代との公平性が満たされなくなる。合意形成が難しいことを理由に、最終目標を放棄することはない。

公平性の縛りに対して 理念の共有化

鳩山ステートメントについて

3-4. 中国やインドなどとの枠組み交渉は困難が予想される。

その道筋に複層的な連携をめざす東アジア共同体の形成も一つの期待されるオプション。

経済成長低下への警戒の縛りに対して、
アジア型経済と環境の好循環モデル

4 政治ポピュリズムへの懸念と警鐘

いま政治変革のときだからこそ

- * 移ろいやすい支持率を国民の意思(目標値)とする政治制度は、政策における一貫性と整合性を欠きやすい。
- * 政策間のシナジー効果(全員野球の求心力)がなければ、25%削減目標は全くの空手形になる。高度で細心の政策体系の設計が必要。
- * 政策設計の失敗は、結果として政権維持コスト(ばらまき財政等)を次代の国民に支払わせ、環境問題というツケを残す。

参考； 高速道路土・日・祝日上限1000円
政策の評価

景気対策(家計支出の変化)

交通流動の変化(新規誘発および転移)

環境影響 (204万トン CO2排出増)